

古墳踊りに先人への思い込めて 第44回大村古墳まつり



住民らで創作したという古墳踊りを厳かに舞った

大村横穴群で古代人をしのぶ大村古墳まつりが開催されました。大村横穴群は6〜7世紀に造られた「墓」で国指定史跡。祭りは、城本町内会などで行く実行委員会が、古墳に眠る先人への、地域の貴重な文化遺産を後世へ受け継ぐと毎年開催しているものです。

祭りでは、古代人の衣装に身を包んだ同町内の小学生と中学生7人が、五色の旗を掲げて行列をつくり入場。読経による供養の後、子どもらが古墳の前で音楽に合わせて舞う「古墳踊り」を披露しました。

安全で暮らしやすいまちへ 住みよさランキング2026



懸垂幕を掲げ、移住・定住促進などへの波及効果に期待

東洋経済新報社が全国の都市を対象に毎年公表している「住みよさランキング」が発表され、人吉市が2年ぶり2回目の総合1位に輝きました。

このランキングは安心度、利便度、快適度、富裕度の4つの観点から、20項目のデータを使って算出されます。本市は、安心度が全国4位、利便度が全国12位となり、暮らしを支える生活インフラや安全面が高く評価されました。市では、市民の皆さんがより快適に暮らせるまちを目指し、今後もまちづくりを進めていきます。

村田観光庁長官が人吉を訪問 観光庁長官との意見交換会



約40人が出席し、アクセス手段の増加などの要望を伝えた

観光庁の村田茂樹長官が人吉市を訪問し、人吉球磨地域の市町村長や、人吉温泉女将の会「さくら会」、人吉温泉観光協会などの関係者と、地域観光について意見交換を行いました。

会で村田長官は「豪雨災害で鉄道が壊滅的な被害を受けたが、肥薩線は復旧の合意ができ、くま川鉄道も9月に全線再開となり喜ばしい。地域が盛り上がるようさらなる支援をしたい」とあいさつ。その後、参加者らが課題や要望を伝え、地域一体となって観光振興を進めていくとの思いを表しました。

市民プールで夏の暑さしのいで 市民プール営業中



市民プールは8月31日まで営業

夏の暑さをしのぐ人々にぎわう市民プールが7月4日から営業を始めました。25メートルと2つの円形プールでは、子どもたちが元気いっぱい水遊びや水泳を楽しんでいます。

夏休み初日は最高気温が30度を超える真夏日となり、朝から多くの家族連れや子どもたちが来場。水しぶきを上げながら思い思いに泳いだり遊んだりして、夏のひとときを満喫していました。小学3年の高木詩乃さんは「夏休みはたくさん来て、もっと上手に泳げるようになりたい」と笑顔で話していました。

アユで人吉の魅力アップ！ 鮎料理ワークショップ



参加者らはバラエティーに富んだアユ料理を試食した

アユ料理や宿泊特典が楽しめる「人吉球磨の鮎まつり」の1環として、旅館芳野（上青井町）で「鮎料理ワークショップ」が開催されました。鮎まつりを主催する人吉温泉旅館組合が初めて企画したもので、観光関係者ら約50人が参加。

ワークショップでは、人吉球磨地域18施設の料理人が考案したアユ料理32品が並び、試食や意見交換が行われました。参加者らは、趣向を凝らしたアユ料理で地域の魅力を伝え、継続して提供していければと、声をそろえていました。

6年ぶりに市内に鉄道の音戻る くま川鉄道試運転開始



各踏切には作業員が立ち、遮断機の作動状況をチェック

令和2年7月豪雨で被災し、運休が続いていたくま川鉄道人吉温泉駅〜肥後西村駅間。線路や施設などの復旧工事完了にめどが立ち、9月の全線運転再開に向けて、設備などの確認のため、試運転が始まりました。市内には、6年ぶりに列車の汽笛が響き、沿線には久しぶりに線路の上を走る列車に手を振って見送る人の姿も。

また、8月からは乗務員の技能習熟のための訓練運転も始まる計画です。踏切を通行するときは、必ず一旦停止と安全確認をお願いします。

道の駅に新マルシェ誕生！ 道の駅人吉マルシェ



ステージパフォーマンスもあり来園者が足を止めて楽しんだ

おいしいものや雑貨などが集まるマルシェが、道の駅人吉／クラフトパーク石野公園で初めて開かれました。同園の魅力を再認識してもらい、人吉を盛り上げようと、吉村恭治さん（茶房人吉）と小田陽介さん（硝子工房）が企画したものです。

当日の園内には、雑貨ショップなど、市内外から当初の予定を大きく上回る約30店舗が出店。駐車場は第2駐車場まで満車となるなど、多くの家族連れでにぎわいました。今後も、毎月第4日曜日に開催される予定です。

地域を守る消防技術競う 第14回人吉市消防操法大会



「操作はじめ！」の号令で一斉に動き出す団員

消防団員が日頃の訓練で培った技術と連携を披露する「第14回人吉市消防操法大会」をスポーツパレス駐車場で開催しました。2年に1回開催しているもの。

当日は小型ポンプ操法の部に17チームが出場。放水までの一連の動作の正確さや速さを競いました。審査の結果、タイム、規律ともに高得点を記録した第4分団第3部（上戸越、下戸越、鹿目）が前回大会に続いて優勝し、2連覇を達成。同部は、9月6日に阿蘇市で開催される県大会に出場します。